News Release

報道関係者各位

2026 年 11 月 11 日

中高大連携で考える 高島の未来
廃校を舞台に、地域と若者がつながる交流イベントを開催
11 月 28 日(土)　滋賀県高島市の旧広瀬小学校にて

麗澤大学(千葉県柏市/学長:徳永澄憲)の「旧広瀬小学校活用プロジェクト」は、2026 年 11 月 28 日(土)に滋賀県高島市の淡海湖西生涯学習センター(旧広瀬小学校)にて、廃校再生イベント「カラフル！パワフル！ひろせフル 5th　みらい×文化祭」を開催します。5 回目を迎える今回は「みんなと考える高島の未来」をテーマに、地元の中学生・高校生と大学生が連携し、地域の方々とともに高島市の未来を考える場をつくります。

本プロジェクトは、旧広瀬小学校や高島市の魅力を伝えたいという学生の思いから 2021 年秋に始まり、翌年から毎年「ひろせフル」を開催しています。2016 年に閉校した同校は、現在、公益財団法人モラロジー道徳教育財団が「淡海湖西生涯学習センター」として運営しています。

今年度から「ひろせフル」は PBL（課題解決型学習）授業として取り組まれており、学生たちは春から開催に向けた準備を進めています。これまでの活動を土台に、中高大連携を通じて、懐かしい小学校に再びにぎわいを生み出すことを目指します。

今回は、7 月 20 日に高島市民会館で開催された「石黒浩教授とともに考える、私たちの未来」の思いを受け継ぎ、高島高校の生徒 6 名が「私たちの未来、高島の未来」を発表。AI や人口減少、福祉、高島市の祭りなどを取り上げ、司会も高校生が務めます。

オープニングは、4 年連続出演の高島市立安曇川中学校吹奏楽部が担当。教室では、中学生が英語弁論やドレス・絵画展示、JR アナウンス、吹奏楽アンサンブルなど、「好き・得意」を披露します。また、高島の盆踊り歌保存会の協力による「高島おどり」で、世代を超えた交流を図ります。

このほか、対話ロボット「BOCCO」との交流、みらいカフェ、TeensLive なども実施します。

【開催概要】

■名称：カラフル！パワフル！ひろせフル 5th　みらい×文化祭
　　みんなと考える高島の未来 ～懐かしの小学校で賑わいをもう一度～
■日時：2026 年 11 月 28 日(土)10:30～16:00（10:00 受付開始）
■場所：淡海湖西生涯学習センター(旧広瀬小学校)
(〒520-1202　滋賀県高島市安曇川町下古賀 1182)
■入場料：無料（一部プログラムは有料）
■主催：麗澤大学「旧広瀬小学校活用プロジェクト」
■共催：公益財団法人モラロジー道徳教育財団
■後援：高島市、高島市教育委員会、
　　一般社団法人 麗澤校友会、麗澤大学麗澤会
■協力：高島の盆踊り歌保存会

【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和 10 年、創立者の廣池千九郎（法学博士）が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス（千葉県柏市光ヶ丘）に開塾したことから始まります。「知徳一体」という教育理念の下、心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指し、教育改革を進めています。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学大学入試・広報課　担当：井上
〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1
Email：koho@reitaku-u.ac.jp　TEL：04-7173-3136　FAX：04-7173-3585　大学公式サイト：https://www.reitaku-u.ac.jp/